

十三小学校研究推進便り

5月18日(月)

国語科研修会

講師

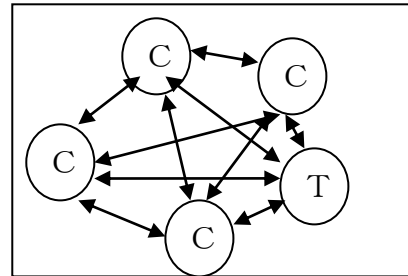
教育センター 三軒 久枝先生

本年度の研究教科「国語科」を進めるにあたり、国語科研修会を実施しました。三軒先生には短い時間の中でも、ほんとに多くの内容を教えていただきました。お話を聞くだけでなく、実際の活動もさせていただきよくわかる研修内容でした。三軒先生のお話はとてもわかりやすく「さすが…」と、感じたのは私だけではなかったのでは！？と思います！

研修内容

① これからの授業は…

- ・ 友達からの情報を受け取る …インプット
- ・ 友達へ情報を出す …アウトプット
- ・ 自分の中で情報の再構成をする…プロセス



交流を中心に授業を組み立てることが大切→そのためには話す・聞く力が必要

話す・聞く力をつけるためには

- ・ 相手におへそを向けさせる。
- ・ 声が届いているか確認させる。
- ・ 「忘れました」は認めない。
- ・ 自分の言葉で言わせる。
- ・ 挙手、指名を減らす。

教師の大きな仕事は！

発言を結びつけるようにすること。
板書で、子供たちの意見を分類・整理すること。

② 物語文の指導

指導すること

登場人物の変容を捉え、その変容が意味することに自己の考えを持つ

- 「読みの観点」として…
- ・ 構成
 - ・ 伏線（事件）
 - ・ クライマックス
 - ・ 変容
 - ・ 表現の仕方、特徴
 - ・ 自己の考え

などを子ども達に捉えさせる。

③ 説明文の指導

指導すること

教材文から情報を得る。(内容がわかる)

筆者の論の述べ方を学ぶ。

筆者のものの見方・捉え方・考え方・主張を読む。

自分の考えや表現・主張を自分の言葉でわかりやすく表現する。

④ 論理力とは … 説明文でも物語文でも同じ

- ・ 比較する力
- ・ 類推・推論する力
- ・ 順序立てる力
- ・ 事象と理由、原因を結ぶ力
- ・ 部分と全体を結ぶ力

⑤ 単元を貫く言語活動

I 次	II 次 (習得)	III (活用)
全体の見通し	目的をもって教材文を読む	自分の表現に活用する
並行読書		

以上、研修内容の大まかなところをまとめてみました。

これから、授業を通して、みんなで一緒に研究を進めていきましょう！